



小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
魚の卵の成長 / 理解シート

## メダカは、なん個ぐらいたまごを産むの



メダカはふつう、1回に10~50個のたまごを産み、数回産卵するので、200~500個ぐらい産んでいるだろうね。

**たまごを産む時期になると、メダカは毎日のように産む**

メダカは、水温が18℃以上になる4月~10月の間、数回たまごを産みます。水温が上がってメダカが元気にすごせる時期には、毎日たまごを産むともいわれていますが、たいてい何びきかいっしょに飼っているのか、はっきりしていません。

メダカが1回で産むたまごの数は、およそ10~50個ぐらいで、体が大きいメダカは、たいてい、産むたまごの数も多いものです。

メダカが、何回たまごを産むかは、はっきりしていませんが、1ぴきのメダカが産むたまごの数は、多くても、およそ500個といわれています。

**親になるまで生き残れる数が少ないから、たまごをたくさん産む**

メダカのメスは、オスと協力してたまごを産み、オスの精子と結びついた受精卵は、しばらくの間、メスの腹にくっついていきます。やがて、たまごは水草などからみつき、ふ化が始まります。けれども、たまごのほとんどが、えさとまちがえられて、おとなのメダカに食われてしまいます。自然の川や用水路では、たまごをねらう小動物がたくさんいますから、ふ化するまで生きのびる数は少ないものです。

また、ふ化したばかりの小さな子魚も、ほかのメダカや魚、水生こん虫などのえさになり、なかなかおとなになるまで生きのびられません。だから、たまごを産んで子孫を残せるメダカは、本当にわずかになります。

そのため、メダカはたくさんたまごを産んで、子孫を残そうとしているのです。

魚は産むたまごの数が多く、メダカは、魚の中ではたまごの数は少ないほうなのよ。



もっと知りたい人へ：「マンボウ、フナ、トゲウオの中で産卵数が多いのはどれ」も見てみよう。